



松浦への
思いを語る

リレーエッセー

40

市報 まつうら5月号

No. 41

平成21年5月1日発行

えつこ
永田 悦子 さん
(志佐・住吉通、38)



○職業・仕事内容

今年、新法人として一新した「まつうら党交流公社」という民泊・体験旅行を扱う会社で、主に経理関係の仕事を担当しています。これからの時期は修学旅行シーズンでさらに忙しくなるので、頑張りたいと思います。

○松浦市の好きな場所・特長

松浦にはよいところがたくさんありますが、昨年、仕事で初めて行った青島の宝の浜の美しさ、島の人々の優しさ、島の雰囲気、すべてが大好きになりました。時間がゆっくり流れているようで、心がすごく癒され和まされます。

○現在頑張っていること・アピールポイント

私の家族は、走ることが大好きです。私もたまに、松浦の季節を楽しみながら運動公園や川沿いの遊歩道を走ったりしています。なかなか思っていたように走れませんが、マイペースで頑張っています。子どもたちも部活やレースにと頑張っており、家族みんなで応援に行くのも楽しみの一つです。私もいつかまた、レースに出られるように頑張りたいと思います。

永田さんから、
川口 正彦 さん (鷹島・中通) に
バトンタッチ!

次回は...

人口

平成21年4月1日現在	
人口	26,255 (-100)
男	12,532 (-35)
女	13,723 (-65)
世帯数	10,225 (-13)

住民基本台帳から

編集室から

今月号の取材の中で、市で取り組んでいる体験型旅行の受け入れ家族の取材をしました(16頁参照)。

年々受け入れ人数が増え、今年度は全国から約2万人が松浦市を訪れます。取材する中で、体験する生徒と受け入れ家族がお互いに新しい発見をして成長できるというこの取り組みが、事故や苦情が起きないようにする人々の努力の上に成り立っていることを実感しました。

「(か)も生徒たちを見かけたら「ようこそ松浦市へ!」という気持ちで言葉をかけたかな」と

思います。(か)



イラスト(近)

編集発行/松浦市総務課秘書広報係
〒859-4598 長崎県松浦市志佐町里免365番地 ☎0956-72-1111 FAX 72-1115
福島町からは:47-3011 鷹島町からは:48-3011
ホームページアドレス <http://www.city-matsuura.jp> Eメールアドレス matsura@city-matsuura.jp
表紙文字 近藤寿一書(企画財政課)

福岡まで1時間! 西九州自動車道の一日も早い完成を!



この広報紙は環境と自然保護のため再生紙(100%)を使用しています。